

教 員 個 人 調 書

履 歴 書					
フリガナ	〇〇 〇〇	性別	女	生年月日 (年齢)	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇歳)
氏 名	〇〇 〇〇				
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇〇〇丁目〇〇番〇〇号				
学 歴					
年 月	事 項				
昭和〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学				
昭和〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 卒業 学士 (〇〇)				
昭和〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程 入学				
平成〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程 修了 修士 (〇〇)				
平成〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士後期課程 入学				
平成〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士後期課程 修了 博士 (〇〇)				
職 歴					
年 月	事 項				
昭和〇〇年〇〇月	〇〇病院 看護師 (平成〇〇年〇〇月まで)				
平成〇〇年〇〇月	〇〇病院 助産師 (平成〇〇年〇〇月まで)				
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部講師 (平成〇〇年〇〇月まで) 担当授業科目: 〇〇学演習等				
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部准教授 (平成〇〇年〇〇月まで) 担当授業科目: 〇〇論等				
平成〇〇年〇〇月	大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において〇〇大学〇〇学部教授「〇〇概論」の資格ありと判定				
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部教授 (現在に至る) 担当授業科目: 〇〇概論等				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等					
現在所属している学会		日本〇〇学会、△△△学会			
年 月	事 項				
昭和〇〇年〇〇月	日本〇〇学会 (現在に至る)				
平成〇〇年〇〇月	□□学会 (平成〇〇年〇〇月まで)				
令和〇〇年〇〇月	△△△学会 (現在に至る)				
平成〇〇年〇〇月	〇〇協会〇〇委員 (現在に至る)				
賞 罰					
年 月	事 項				
平成〇〇年〇〇月	日本〇〇学会 □□□賞 受賞				
現 在 の 職 務 の 状 況					
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称		勤務状況	
〇〇〇大学	教授	〇〇学部〇〇学科		〇〇概論、△△演習、□□実習	
令和〇〇年〇〇月〇〇日					
上記のとおり相違ありません。					
氏名 〇〇 〇〇 印					

教 育 研 究 業 績 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏名 〇〇 〇〇 印

研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
(研究分野の主なものを3つ以内で簡潔に記入してください)		(研究内容を表すキーワードを5つ以内で簡潔に記入してください)	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項			
事 項	年 月 日	概 要	
担当授業科目に関する「教育上の能力に関する事項」を年月日順(過去→現在)に簡潔に記入してください。		それぞれ概要の欄は明確かつ簡潔に記入してください。	
1. 教育方法の実践例 ①課題〇〇レポートの活用 ②体験型〇〇学習の導入	平成〇年〇月～平成〇年〇月 平成〇年〇月～現在に至る	〇〇大学看護学部看護学科の講師として担当の「〇〇論」(専門科目、1年次前年、必修2単位)の講義では、〇〇〇〇し、実践することの大切さの理解が早くなった。 〇〇大学看護学部看護学科の講師として担当の「〇〇論」(専門科目、1年次前年、必修2単位)の講義では、グループで〇〇〇〇し、学生の満足度が高く、理解度が向上した。	
「1.教育方法の実践例」記入上の留意点 概要欄に①教えた機関(大学名等)、②科目、③常勤・非常勤の別などの記載とともに、導入した独自の教育方法の実践例を記入してください。			
2. 作成した教科書、教材 ①〇〇〇〇〇〇〇 ②DVD教材「〇〇」	平成〇年〇月～平成〇年〇月 令和〇年〇月	〇〇大学非常勤講師時に、同じ科目をオムニバスで担当する教員と共同して教材を作成した。(教科書等の概要を記載) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
3. 教育上の能力に関する大学等の評価 ①〇〇〇〇〇の授業評価 ②自己点検・外部評価	令和〇年〇月 令和〇年〇月	学生による授業評価において高い評価を得た。(授業内容にほぼ満足と回答した学生が8割を占めた。) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
「3.教育上の能力に関する大学等の評価」記入上の留意点 学生による授業評価、教員同士の相互評価、自己点検・評価の一環として教育面で高い評価を受けた等、自身の教育上の能力に関する客観的評価を記載してください。			
4. 実務の経験を有する者についての特記事項 ①〇〇〇〇〇〇〇 ②〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月～平成〇年〇月 平成〇年〇月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
「4.実務の経験を有する者についての特記事項」記入上の留意点 大学から受け入れた実習生等に対する指導、大学の公開講座や社会教育講座における講師等、について広く記載してください。			

[illegible]

3. ○○○○○○○○○○ ○○○	共著	平成○○年○○月	○○大学研究雑誌20巻 1号 p. 50～p. 55	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○ 本人担当部分：共同研究につき抽出不可能 共著者：○○、○○、○○
4. ○○○○○○○○○○ ○○○	共著	令和○○年○○月	○○155巻4号 p. 89～p. 93	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○ 本人担当部分：データ分析、考察記述（p. ○○～p. ○○） 共著者：○○、○○、○○
(その他) 「学会発表」 1. ○○○○○○○○○○	共同	平成○○年○○月	○○学会：第○回○○ ○○学会	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○ 本人担当部分：○○ 共同発表者：○○、○○、○○
2. ○○○○○○○○○○	単独	平成○○年○○月	○○学会：第○回○○ ○○学会	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○
「公開講座、講演」 1. ○○○○○○○○○○	単独	平成○○年○○月	○○○○○○○○○講座	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○
2. ○○○○○○○○○○	単独	平成○○年○○月	○○○○○○○○○講座	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○
「新聞掲載」 1. ○○○○○○○○○○	単著	平成○○年○○月	○○○○○新聞	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○

共著の場合は、自身の担当部分の概要及び掲載頁(例:p.○○～p.○○)を明記し、また、自身の氏名(下線を引くこと)を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記載してください。

共著の場合で自身の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記してください。(例:共同研究につき本人担当部分抽出不可能)